

白津川 (作図: 三)

滝を越えるとほぼ平坦地となり、岩にペンキで「沢終了」とかかっている。

浄土平へ向かうが車道に出るまでだいぶ距離があり、途中昼寝をする。浄土平一三時到着。

(記: 三)

〔タイム〕

高湯七:二〇―須川八:一〇―姥滝沢・中の沢出合二〇:二〇―めおと滝一:三〇―浄土平一三:一〇

白津川

一九七九年七月八日

◆天気(晴)

佐原から吾妻パイロット事業用の林道を車で登り白津川出合の橋まで行く。水が流れていないので多少不安となり、地図を見て、この沢が白津川であることを確認し、身仕度を整え遡行開始。

二分くらい登ると一〇分くらいのナメ出現。又すこしくくと二〇分くらいのチムニー状のナメ、その先にはさらに五分のナメと続く。地図を見て何もなく平凡な沢な

のかと思っていたので、意外なナメや滝（水があれば）の出現に喜びたつ。水が涸れているせいか思ったより行動は早く進む。

現在地確認のため一度沢より上がり小休止。ここから先は高度感が増し、五〇分ぐらいのナメや小滝も出てくる。登山道出合までつめて沢登り終了。

（記・つ）

〔タイム〕

白津川出合八・五〇―登山道一二・一〇

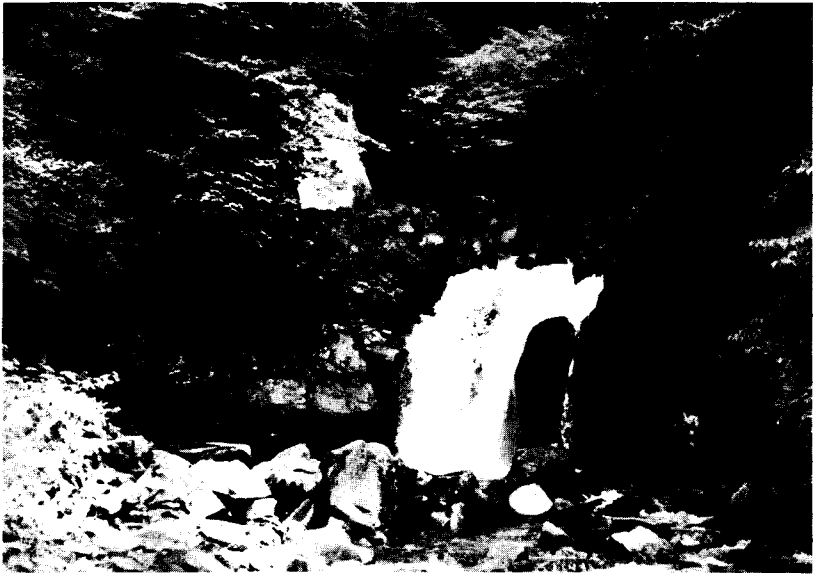
塩の川（下流部）

一九七五年七月二十二日

◆天気（曇一時雨）

土湯温泉行のバスを一寸張で下車。そのまま車道を登ると右に入る未舗装の車道があるのでそれに入る。車道が荒川に達した所に大きな砂防ダムがあり、その上が塩の川と荒川の合流点である。水量は荒川より塩の川の方が多かった。身仕度を整えて出発する。

明るい河原が続いて滝はない。やがて砂防ダムがあら



塩の川・思いの滝